

ナマステ

特定非営利活動法人
自然文化誌研究会 会報誌



113 号

2013 年 8 月 20 日発行号

←植物と人々の博物館ロゴマーク。

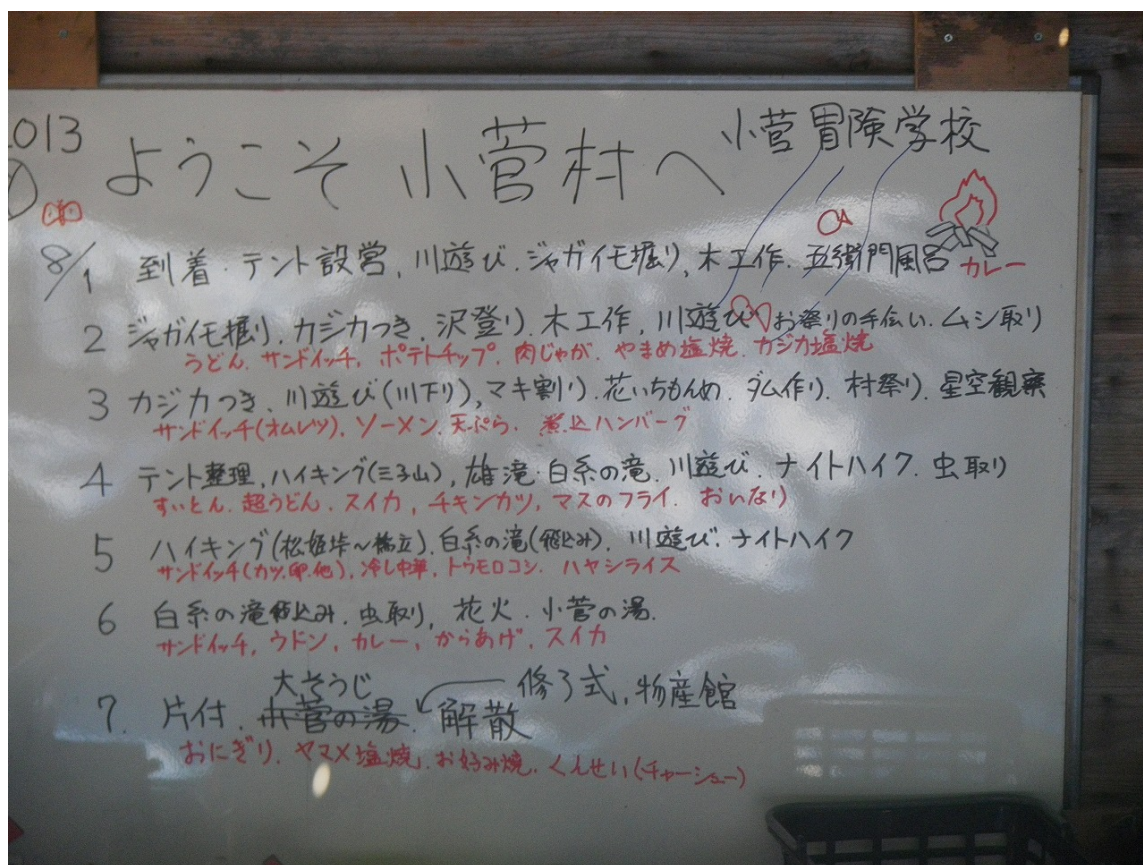
猛暑の中、涼しい小菅村では晴天に恵まれ、多くの活動を行うことができました。会員の皆さま、参加者、スタッフの皆さま、小菅村の皆さまに感謝しております。きのこシーズン到来の秋です。INCHまつりをはじめ、多くの活動を予定していますので、今後ともよろしくお願いします！！

活動報告

その1 「こすげ冒険学校」報告

8.1~8.7(6泊7日)

定員をちょっと超えた22名の参加者とともに、6泊7日の「こすげ冒険学校」を開催しました。天気に恵まれ、多くの活動を行うことができました。涙アリ、笑いアリの6泊7日間の様子をご報告します！！



もう夏休みは終わっちゃたけど小菅村のキャンプだけ楽しかったです。川遊びが楽しかったです。川は、めちゃくちゃ冷たかったです。あと米研ぎです。米研ぎだけは楽しかったです。米研ぎは、一回めちゃくちゃウマイご飯が炊けました。小菅村キャンプ楽しかったです。佐藤正平くん(小5)

楽しかった川遊びとナイトハイク

川遊びが楽しかったです。滝に飛び込んだ。うきわで波の所ですべて岩に膝をぶつけてキズができたけど次の日も波の所に行って、ケガしそうだな。と思っていましたが、でも、ケガはしませんでした。夜、ナイトハイクをしました。全然怖くなかったけど楽しかったです。前田尚寿くん(小3)

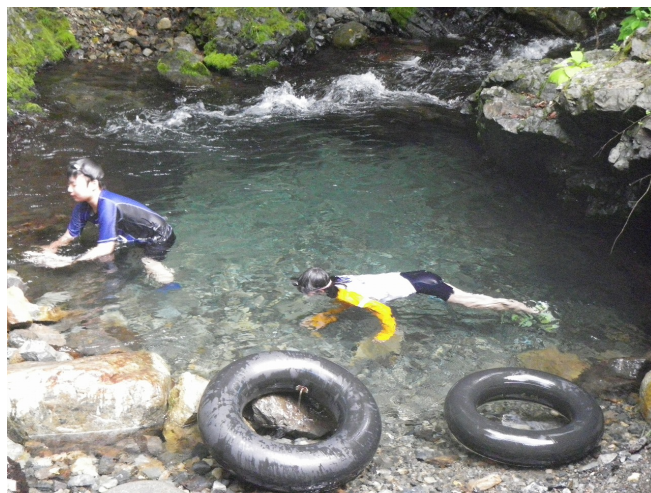


そして、連日「カジカ捕り」へ。今年は雨が少ないせいだろうか、収穫がものすごく少なかった。

一方、クワガタやカブムシは、たくさん捕れました。子どもたちは毎晩、虫捕りに外灯へ向かいました。



メスが 8 割ぐらいという感じです。



毎日川遊び。日中は暑いので、川に入った方がスッキリします。それにしても、今年は水量が無い。小菅村は渇水というぐらい、水の量が少なかった。川にダム(プール)を作って深くしました。



川もずっと入っていると寒いので、五右衛門風呂で温まります。川を汚さないように、シャンプーや石鹸は使いません。キャンプの最終日まで、このお風呂のみで、みんな生活しました。



8 月 3 日が、「ミケ村の祭典(小菅村役場周辺の 2 地区)」だったので、前日の晩は、お祭りの手伝い(花づくり)に行きました。

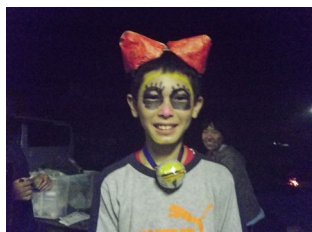


ハイキングを 2 日ほど。オオマテイ山という地味ですが、森の中の山頂へ。けっこう、疲れたね～。

ブランコの紐が長かったです。途中から地面がなかったです。最初は怖かったけど、怖くなくなりました。マーシー(スタッフ:横山くん)が高く高く、押してくれました。とっても楽しかったです。またやりたいです。 相馬知子さん(小1)



白糸の滝では、飛び込み大会が行われたもよう。かなり盛り上がったもよう。



昨年に引き続き、仮装大会がはじまりました～。



武田信玄、ドラエモン、ドラミちゃん、コロ助(バカ殿?)・・・

ぼくは小菅村は自然にあふれている素晴らしい所だと思います。なぜなら、目を閉じて耳を澄ませると川のザーという音や虫のミーという声が聞こえるからです。それに木がたくさん生えている小さな道をひたすら歩くハイキングは都会ではできないので良い経験になりました。一番楽しかったのは仮装です。ぼくがドラえもんになったらみんな笑顔になってました。来年も小菅村に来たいです。みんな親切でとても良い思い出になりました。 松井達希くん (小4)



みんな、料理も手伝いました。

私は、小菅村の冒険学校へ行ってきました。楽しかったことは、5つあります。一つ目は、囲炉裏の火おこしです。火をつけて、火を木や炭を使って、火をおこしました。

二つ目に、楽しかったのは、テントを組み立てるのが楽しかったです。

三つ目に、楽しかったのは、料理です。自分のやりたい日にできるからです。

四つ目に面白かったのは、滝です。こわかったけど、ちあき(スタッフ：富山さん)が抱っこして飛び込んだから、楽しく思えました。

五つ目は、川です。川に入って、いろいろな発見ができたからです。

悲しかったのは、一つあります。ママとパパに会えないことです。

私は料理で、ママを思いました。サラダが、ママが作る味でした。

しかも、自分たちで作ったサラダです。ドレッシングも、自分たちで作ったのに。

パパのことは、小菅村のお祭りです。獅子舞で、パパを思い出しました。

これは、思い出にしたいです。 白鳥ららさん(小3)



最終日の修了式。雪村長より「修了証」が参加者全員に渡されます。この後は小菅の湯に入って、6泊7日のキャンプ生活を洗い流しました。みんな6泊7日おつかれさまでした！来年も待ってるよ♪ (事務局)

逃げたクワガタつかまえてくれてありがとう。つれてかえったクワガタ元気です。 山田築くん(小3)

キャンプでは色々とお世話になりました。とっても楽しくてもの足りないぐらいで、あと3日あったらいいなーなーんて思いました。また来年も行けたら、よろしくお願いします。 高上晴華さん(小6)

その2 「冒険学校 やまめ・いわなキャンプ」 8.10～12(1泊と2泊)

親子で参加できる『やまめキャンプ・いわなキャンプ』を今年も開催しました♪今年は晴天に恵まれました。
参加者 25 名のにぎやかなキャンプとなりました～。



カジカ捕りに行くも、やはり魚影は少ない・・・。



小菅村の加藤源久さんを講師に、魚の生態調査を行いました。
上流の 5 番堰堤まで行きましたが、その周辺は、小菅川本流が
伏流していました。本当に、水が少ない夏でした。



手づかみ漁で捕まえたヤマメやイワナを観察。



伏流する手前で、みんなで肩を寄せ合いながら、魚を追い込み、
「ブツ」で捕まえます。捕まえた魚は、別の場所へ放流します。



川遊びと五右衛門風呂は交互に。温まるためのお風呂です～。



2 泊 3 日、みなさんおつかれさまでした～♪

橋立地区のお祭りで、神代神楽も見に行きました。虫捕りも夜長く行きましたね！！
長作地区ヘムササビも見に行きました。飛んでくれなくて残念！！

その3 冒険学校「むらまつりキャンプ」

5.3~5(2泊3日)

毎年恒例の「冒険学校むらまつりキャンプ」。今年は100%自然塾による「よちよちヤマメのから揚げ」の出店もあり、第26回多摩源流まつりの会場で、出店の協力もしてもらいました参加者の皆さん、スタッフの皆さん、集まってくれてありがとうございます！



小菅村到着、まずは川遊びだ！！



虫捕りをしながら雄滝へ！！



囲炉裏でまったりと作戦会議。

＜参加者のご感想＞

ご飯美味しかったよ。ブランコも楽しかったよ。
これからもいっぱいあそびまね。
川見百合愛さん（小2）

キャンプ楽しかったよ。みれいは売り子が楽しかったよ。運ぶのを手伝ったり、日向（参加者：熊木くん）と一緒に手伝った。今回、大地が来なかったけど、さくらちゃんが来たからいろんなことができたよ。川見美鈴さん（小4）



小菅村の5月はまだ寒い！焚き火は必須です。



小菅の湯に入って、もうすぐ小菅村を出発です。

5/3（DAY1） テント立て、川遊び、じゃがいも植え、焚き火、ヤマメの調理など

5/4（DAY2） 多摩源流祭り、五右衛門風呂、焚き火、ナイトハイクなど

5/5（DAY3） 川遊び、小永田地区神代神楽、温泉に入って解散～♪

その4 「のびと講座 野草の天ぷらとお茶つみの会」 4.29(日曜日)

今年は事前に、お茶づくりの勉強会を行い、本番に臨みました。晴天にも恵まれ、おいしいお茶ができましたね！！講師の宮本透さん、岩谷美苗さん、ありがとうございます～！！



まずはお茶を摘みます。たくさんたくさん摘みます。



お茶を蒸して、冷ましてから・・・



お茶をみんなで揉みます。



2 時間ほどで、お茶になってきました。



最後はみんなで試飲会です～。



天ぷら会にもぎやか。集めた野草を分けてから、みんなで天ぷらにしました！！

その5 「ELF 環境学習集権指導者(のびと)研修会」 6.29~30

本会の 30 年以上の実績をエッセンスに取組む指導者養成事業を開催しました。本会独自の「のびと認証」とともに、「NEAL リーダー」の認証も行っています。「NEAL リーダー」は旧「CONE リーダー」であり、文科省の指導者養成制度も組み込んだシステムに変化しました。



雨に降られたので、小菅村の関口智久さんの指導の元、ボルタリングにも挑戦。



沢登りの指導も行いました。

そのほかの事業 「八王子市教員パワーアップ研修会」 7.24

昨年に引き続き、2 回目の研修会を行いました。本会理事の鈴木英雄さんと黒澤の 2 人で講師を務めました。八王子のグランドキャニオンと呼ばれる北浅川にて、実際にフィールドに出て研修会を行いました。主なテーマは、地質のこと安全管理のことなどを重点としました。



鈴木英雄さんによる地質の講義と本会の考え方の紹介。



小菅にも欲しい北浅川。楽しい～！！

他にも、7 月 20 日に「第 33 回環境教育セミナー」の開催や、企業研修キャンプ、高校生の合宿などを受け入れ、多くの皆さんと活動をともしることができた夏になりました。

「タイ環境学習キャンプ」「源流での登山道整備」については、次号のナマステ 115 号でご紹介します。

■ 活動案内 ■

その1 「INCH 祭り」～「INCH ライブ 2013」と「きのこ講座きのこキャンプ」で楽しくやっちゃいましょう！！ 10.5～6(1泊か日帰り)

春に行く「野草の天ぶら会とお茶つみの会」と同じく、会員の皆さまが気軽に参加できる秋の一大イベント「INCH 祭り」を開催します！ログハウスのあるキャンプ場で、昨年も開催した「INCH ライブ」と「きのこ講座 きのこキャンプ」を開催し、秋の味覚を堪能しながら楽しい時を過ごしましょう！



本会代表理事中込卓男のバンド「チョークス」。彼の職場の友人、山田義守さんのバンド「座」(アコースティックハーモニーフォーク)、キャンプで村長を務める本会理事の鈴木英雄によるワンマンショー、廣瀬屋旅館の若旦那、小菅村民による笛の共演、加藤翔くんのギター、よいしょバンドなどなど、まだ調整中ですが、多くの皆さまにご参加いただく予定です。



普段会えないみなさま、キャンプでしか会えないみなさま、ライブをBGMに、のんびりとお酒、お茶でも飲みながら過ごしませんか！！

音楽を愛する方は楽器持参で、腕に自信のある方もない方もぜひぜひお越しください♪

きのこに興味のある方は、一緒に山に入ってきのこを探りに行きましょう！！



← 野外でバーも開催！

■日程: 10月5日(土)～6日(日) 日帰りもOKです。

第1部 13:00頃から開演「まじめなアコースティックコンサート」

※一流のバーテンダーにも来てもらう予定です。お楽しみに！！

■会場: 山梨県小菅村いつものキャンプ場

■参加費: ※非会員の方はこの機会にぜひ会員に！

ライブのみの参加 会員 1,000 円 (中学生以下無料)

きのこ採りをされる方 会員 3,000 円

泊まりの方 1泊 1,500 円(ログハウスかテントで寝袋)

■交通機関

※小菅村までの交通は自力になりますので、よろしくお願いします。バスの時間などをご相談ください。

■お申し込み: ライブの当日参加はOKですが、きのこ採りに参加される方は保険に加入しますので、9月30日(月)までにお申し込みください。



その2 「のびと講座 星空観望会」 12.7~8(1泊2日)

アイソン大彗星がやってくる！！

ハレー彗星を超えるか！？

アイソン彗星は、去年 9 月に発見された彗星で 11 月 29 日に太陽にもっと近づく彗星です。

この彗星は、地球から遠い距離で発見されたこと、太陽に極端に接近する軌道であることから、肉眼でもよく見える大彗星になると期待されています。8 日明け方、東の空低くに長く尾を引く彗星の姿が見られるはずです。是非、澄んだ小菅の空で大彗星をみんなで観察しましょう。

また、この時期は、ふたご座流星群の活動時期なので、普段より多くの流れ星も見ることができます。星空の写真撮影の方法についても解説します。小菅村は東京から近いのですが、星を見るのに具合の良い環境です。



日 時: 2013 年 12 月 7(土)~8 日(日)

場 所: 小菅村の空が広く、真っ暗な場所

宿 泊: キャンプ場にてログハウス(暖かいです)+寝袋

対 象: 小学生 3 年~一般 15 名

※小学生のみは要相談

費 用: 会員 5,000 円 非会員 8,000 円

※宿泊費、食費、保険代、教材費を含みます。

講 師: 中込貴芳(本会副代表理事)

佐々木正久(茨城県立石岡二高教諭)

内 容: 日中に観察のポイントや天体の話、天体写真講座を行います。夕刻~深夜まで流星を楽しみましょう。夜食は暖かい鍋でも囲みます。翌日は遅めの朝食、小菅の湯で冷えた体を温めて帰ります。

※ バルブか数十秒までの露出ができるデジタルカメラまたはフィルムカメラ(フィルムカメラの場合 ASA400 以上のフィルム)、三脚をお持ちの方は、ご持参ください。

「アイソン彗星」とは・・・

11 月 29 日頃近日点を通過(太陽に一番近く)するので、その前後が見やすいのですが、後の方が見やすいようなので、12/7-8 か 12/14-15 になりますが、月の関係で 12/7-8 がベストです。

アイソン彗星(C/2012 S1 ISON)は、2012 年 9 月 21 日に 19 等級の明るさで発見された大型の新彗星です。軌道が楕円でなく放物線なので、太陽に近づくのは今回限りです。近日点距離(最も近づいた時の太陽の中心からの距離)は、186 万 Km です。

過去には、1965 年の池谷・関彗星が 120 万 Km、1976 年のウェスト彗星が 2840 万 Km まで近づきました。どちらも核が分裂して雄大な尾をたなびかせてくれました。

計算上は満月のように明るく輝く可能性があり、もしかすると、昼間でも観測できるかもしれません。

アイソン彗星は北半球からの観測条件が非常に良く、1910 年のハレー彗星のように長大な尾が観測でき、歴史的な大彗星となる可能性が高いのです。

昨年(2012)の金環日食に続く、世紀の天体ショーです。

その3 「冒険学校 まふゆのキャンプ」 12.22~24(2泊3日)

毎年恒例の冒険学校「まふゆのキャンプ」を体験して、暖かいお正月を迎えませんか？

小菅村ではお正月の準備がもうはじまる頃です。日中は、村内を自由に動き、お正月の準備を見に行ったり、村の中でもちょっと面白いところに行きましょう。

焚火・薪割り・ドラム缶風呂・ナイトハイク・星空観察・アウトドア料理・滝探検・・・その場で思いつく限り、いっぱい遊んで、食べて、寝る。そんなキャンプです。個性あふれるスタッフがみなさんの参加を待ってます。

日 程：12月21日（土）～23日（祝・月）

場 所：小菅村のいつものキャンプ場

宿 泊：テントまたは野宿またはログハウス

集 合：12月21日 JR青梅線奥多摩駅午前

解 散：12月23日 JR青梅線奥多摩駅午後

対 象：小学校3年生～中学校3年生 20名

参加費：会員¥20,000 非会員¥22,000

（奥多摩駅からの交通費・食費・宿泊費・保険代などが含まれます）

申込み：ハガキ・もしくはE-mailに住所・氏名・年齢（学年）・性別・電話番号を記入の上、12月13日（金）までに事務局まで参加をお伝えください。



登山の準備をして仏舎利へ！！



これから仏舎利へ登って山の中で1泊です！！



寒空の朝、バードウォッチング！



10cm オーバーの霜柱を発見！！

『家を建てるまで』 vol.2 (INCH の楽しい仲間たち vol.5)

だいぶ進展しました。連載あと 2 回のうちに完成する見込みなのですが・・・！！(事務局)。



前回のナマステでは土地交渉が無事修了！と報告しましたが、今回は…基礎・土台完成です！(2013.9.10 現在)

先週末は土台に防蟻剤を塗ったりと、できることをコツコツこなしています。

今、我が家になるであろうログ材は遠い遠いフィンランドから船に乗って日本に向かっていきます。その間にやることは沢山！！家を建てるのって本当に大変です。特に私たちは「自分たちで建てる」というロマンに溢れ、且つちょっとめんどくさい建て方をチョイスしてしまったのですから。いろいろな段取りと決断に追われています。そうそう、今月中には約 1 年前に予約した薪ストーブも取りに行く予定です。

豊かな生活をしたいと思いました。それは、お給料を沢山もらう豊かさではなくて、もっと自然体で居られるような、心地よいものです。自給自足は到底できるとは思いませんが採れたての野菜の美味しさは知っています。だから管理できる広さの畑を借りて好きな物だけ育てるような、身の丈にあった贅沢をしていこうと思いました。

小菅産の挽きたての蕎麦を打って、採ってきたばかりのワサビをすって、ワサビおろしは鮫皮で、お蕎麦が乗ってるザルは小菅のおじいさんが作ってくれたやつ。そばつゆは無添加の醤油とみりんを使って、おいしいダシは鰹節と昆布でとったもの。。。そんな贅沢な暮らしをしていきたいんです。

その第一歩が家作りでした。沢山の人の手を借りて、怒られながら進めています。なんせ初めての事なんで分からないことだらけです。そんな家作りも基礎が完成し、土台も完成しました。後はログ材が到着するのを待つばかり。

ログ材到着の際はみんなお手伝いに来てね！！おいしいご飯と温泉をご馳走します！ (はるこ)

既に測量は済み、土地の登記も完了しました。7 月 5 日には地鎮祭も準備して行い、関係者の皆さまにご出席いただきました。

小菅村役場からも「定住環境整備資金貸付」の申請に対して、正式な決定通知を戴きました。満額の 1,000 万円が決定しています。

但し、この 1,000 万円。3 割が基礎完成時に支払いを受け、残りの 7 割は完成後の支払いということで、これは家が完成するまでは、ほぼ自己資金で行うということ。申請書にきちんと書かれていたので、何とかお金を準備し、支払いが遅れないように心掛けよう。自分たちで組み立てるので、専門業者に発注する部分はバラバラに請求が来るので、早めに用意しておかなくては！・・・という金策の現状もあつたりです。

地鎮祭の際の整地作業で、かなり土地を掘り下げました。よって、境界に石積みが必要(小菅村では「屋敷造り」とも言う)ということで、キャンプ場オーナーでもある木下善晴さんにやっていただきました。平均年齢 80 代の 2 人で 3 日ほどで完成。完成物は一生物です。



そして現在、基礎作業も終わり、今度はログハウスの材料を受け入れるための準備です。材料到着後は、材料が傷んだりしないように、すぐに組み立て始めたい。そのための準備となります。

順調に進んでいるようですが、反省も多くあり、協力してくださる皆さま、近所の方にも失礼やご迷惑をお掛けしてしまっています。深く反省し、謙虚に進めていきたいと思っています。完成予定は年度内！！かなと。

(くろさわ)

『植物と人々の博物館』 vol. 13

①「第 16 回 雑穀栽培講習会」の開催

5 月 11 日に小雨の中でしたが、開催。ウルチキビ、モチキビ、ウルチアワ、モチアワ、シコクビエの 5 種類を播種しました。数回の草取りをして、8 月に入るころに出穂。



①成長はまあまあ。感想への強さを実感。



②キビ



③アワ



④シコクビエ。今年はまあまあ。

キビは、4 畝だったのですが、網掛け遅れたら、見事に食べきられてしまいました。アワ、シコクビエは間に合ったので大丈夫です。

②源流祭りにおける展示の解説・講座

5 月 4 日の「第 26 回多摩源流まつり」には新しく整備した展示を開放、東京学芸大学木俣美樹男教授による縁側講座を実施しました。

地域の食料安全保障～三陸の農山漁村から学ぶ
担当：木俣美樹男（植物と人々の博物館研究員）
※当日の博物館スタッフを募集中です～！！

③書庫の整備～学芸大学実習

植物と人々の博物館には、多くの専門書が設置されています。現在、書庫としてデータベース整備をはじめ、書籍の整備を継続して行っています。

今回、7/7-8 の日程で、学芸大学の小菅巡検があり（正式な巡検名は「農山村における生物文化

多様性フィールド実習）、その中でも、学生の皆さんが力を発揮し、書庫の整備を行いました。



インド関連の本も 1000 冊近く加わり、内容に淳美が加わりました。



小菅村の方を訪問して聴き取り調査も行いました。

魚チームは、養殖業の木下稔さんを訪問。



森林チームは、キャンプ場オーナーの木下善晴さんを訪問。

夜の座談会はキャンプ場で囲炉裏を囲みました。

『小菅村の動き』 vol.13

夏のお盆空け・・・土日以外、小菅村は日常の平静さに戻りつつあります。そして 9 月になると、紅葉シーズンまでしばらく穏やかな状況が続きます。

①小菅村役場が立て替えになります～。

対震強度が小菅村でも一番キツイが、補強工事もできない状況の中、この数年で基金の積み立てもあり、小菅村役場が新庁舎されることになりました。1 年半後の平成 27 年 3 月完成予定。現在の場所に立て替えられます。年末頃から仮庁舎になりますが、狭い村内ですので、来村者も迷わないでしょう～。

②「よちよちヤマメのから揚げ」第 3 位でしたが・・・。

5 月 25～26 日に、あきる野市内のサマーランドにて、「第 2 回 多摩げた B 級グルメ大会」が開催されました。結果、「よちよちヤマメのから揚げ」は第 3 位だったのですが・・・お客さんがとて～も少ない大会でした。どのブースもお客さんが少ないので売り切ることは難しく、小菅村も売り切ることはできませんでした。逆に、いつもならば長蛇の列になって、他ブースの食べ物を買うのも大変、そもそも交代で休みを取るのも大変なのに・・・他店舗と仲良くなりました。並ばずにいろいろなグルメを食べることもできましたが・・・。



まさに「閑散」としていました。

③クマ出没中～注意！

小菅村内で、クマが出ています。養魚場に餌付いたりしています。ワナによる駆除も開始されていますが、今年のクマはなかなか掛かりません。ワナはドラム缶を 2 つ横に繋げたもので、中にエサを仕掛けたあり、エサ

に食いついた時点で入り口の鉄板が降りて塞ぐワナです。本当にハチミツを使うのですよ～。



クマのワナ。入り口の鉄板が閉まっているので、獲物が掛かっている状態。

④小菅のお盆

旧暦の 7 月 13～16 日頃の様です。今年は、船木民宿の竹治さんが亡くなったので、お盆に呼んで貰っていろいろ知ることができました。お墓に行った時に、小菅の苗字が集約されているんだなあ実感しました。

本会で、きのこ採りや山菜採りでご指導をいただいた小菅村 100% 自然塾・元会長の土肥正長さんが 5 月初旬に亡くなりました。実際に、はるちゃんのきのこ採りの師匠でもあり、冬は土肥さん家でよく飲んだなあ。早すぎるなあ。むらまつりキャンプ中だったのでなかなか実感が沸かなかったのですが、6 月に近い仲間で偲ぶ会を行い、翌日に納骨もありました。



○ 今後の活動予定のお知らせ (2013 年秋～冬)

10/5～6 『INCH まつり』～『INCH ライブ 2013』と『のびと講座きのこキャンプ』 @小菅村 1泊2日

12/7～8 のびと講座『星空観望会～アイソン彗星』 @小菅村 1泊2日

12/21～23 冒険学校『まふゆのキャンプ』 @小菅村 2泊3日

※『ログビルダー養成講座』は、毎月2回の週末を中心に活動しています。事務局までご相談ください。

※年明けに「第10回通常総会」を開催します。開催日はまだ未定です。次回のナマステ114号でご案内します。

○ 事務局より

●『自分の土地を持ち、家を建てることになる』とは・・・1年前には想像もつきませんでした。既に動きだしており、もう後戻りはありません。10月からは週末ごとに、ログハスウの組み立てを進めていきます。少しでもお時間がある方は、ぜひぜひお越しいただき、一緒に汗を流していただけたら！！ クロ』

●『人んちのことなのに週末ごとに小菅に来てくれるログビルダーに頭が上がりません！黒澤家にいつでも泊まってくつろげる券を発行しておきます。秋になると土肥さんを思い出すなー。 はるこ』

○ 事務局の麗しき日々 (4ヶ月ぶりなのでネタ不足は解消)

- ・匠、ついに就職が決まったもよう。あとは無事に卒業できるか・・・？
- ・ちえのわの旭がチャリで腕骨折で新歓合宿行けず・・・泣いてたよ。
- ・夏子から10月の結婚式の招待状が届いた。オメデトウ～！！
- ・甲斐、諦めずに、がんばってくれ。
- ・佐々木さん、この夏の小菅泊は・・・13泊で、「短いな」とのこと。
- ・大ちゃんはキャンプ場に来ると体調を崩す。キャンプ苦手なもよう。
- ・大地がキャンプに復帰できました。さくら、お姉さんになったね。
- ・ログの池田さんは善さんを手伝うと決まってケガをするもよう。
- ・みやもっちゃんは教員を早めに辞めて、学大に出没中なもよう。
- ・圭ちゃんがドロボーに入られたもよう。困ったら応援するぞ。
- ・雫は探検部との山行でバテたので「ジジイ！」と呼びましょう。
- ・木俣さんが孫を連れてきた！！・・・ちゃんとおじいちゃんしていた。
- ・翔くんは陸前高田市で勤務中なもよう。そして帰京した。
- ・やぎちゃんは、なんか大事な挨拶に行くらしい。
- ・ついに、まーしーが・・・！キャンプに彼女を連れて来たぞ～い！！
- ・深ちゃん結婚したもよう。おめでとう～。

○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか？

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30年以上にわたって活動を続けています。2004年からNPOとして再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』『ELF環境学習中堅指導者のびと研修会』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。



ナマステ 113号

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、納入をお願い致します。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下 8 つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額（1～12 月）です。また、皆様からのご寄付も募っております。

正 会 員：10,000 円 一般会員：5,000 円

学生会員：3,000 円 賛助会員(個人・団体)：10,000 円

家族会員（一家族）：6,000 円 特別維持会員：100,000 円

植物と人々の博物館友の会会員：3,000 円

小菅村特別会員：1 口 1,000 円から

郵便振替口座：00100-2-665768

口座名：特定非営利活動法人自然文化誌研究会

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌

<発行日>2013 年 8 月 20 日

<編 集>自然文化誌研究会 事務局

<発 行>特定非営利活動法人

自然文化誌研究会

The Institute of Natural and Cultural History

<事務局>〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 4115

TEL：0428-87-0165

携 帯：090-3334-5328（黒澤）

E-mail：npo-inch@wine.plala.or.jp

H P：http://www2.plala.or.jp/npo-inch/

次回「ナマステ 114 号」は 12 月上旬の発行を予定しています。お楽しみに！！